水をきれいにするのは、私たちです。

生活雑排水処理 市内で〇・四％

生活排水を浄化する施設は、浄化槽、地域型汚水処理施設（コミュニティ・プラント、農業集落排水施設等）、および公共下水道の三つに大別されます。

浄化槽は、生活排水の源である住宅ごとに設置するもので、内部の微生物の働きで、汚れをきれいにする装置です。し尿だけを処理する浄化槽を単独処理浄化槽といい、し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽を合併処理浄化槽といいます。浄化槽は各家庭ごとに設置するので、住宅が散在しているところや小集落で有効です。

地域型汚水処理施設は、市町村が設置する施設で、し尿と生活排水を併せて処理します。対象地域が比較的狭いため、主として新規に造成される団地、既存の農村集落など定住地域に適しています。

公共下水道は、生活排水とともに、工場排水・雨水も併せて処理します。多数の配管により排水を集め、最終的に終末処理場という施設で処理します。対象範囲が広く、処理能力も高いことから、住宅・事業所等が密集している都市部で有効な施設です。

1人1日当たりの汚れの量（BODによる表示）

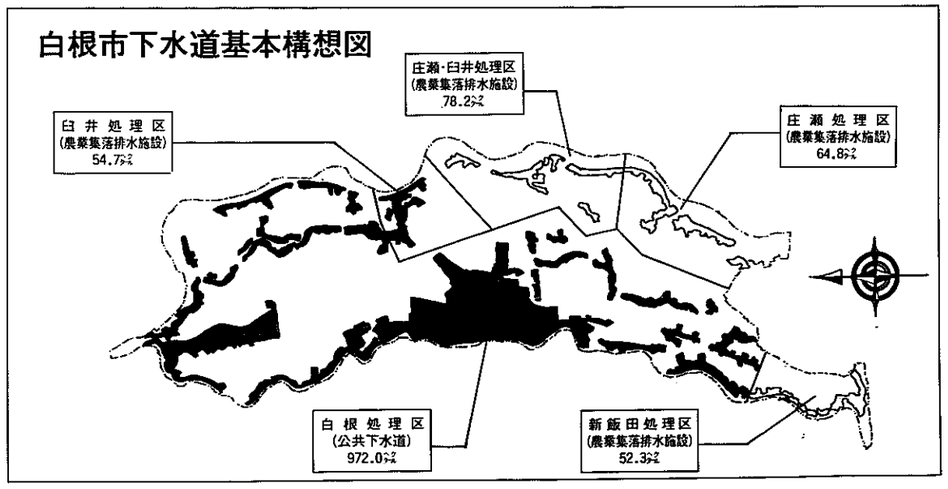
処理しない場合	40g 台所、ふろ、洗濯など27g　し尿 13g
くみ取り式	27g 台所、ふろ、洗濯など27g
単独処理浄化槽	32g 台所、ふろ、洗濯など27g　単独処理浄化槽の処理水 5 g
合併処理浄化槽	4g

下水道基本構想を作成

排水の処理には、対象範囲の広さ、処理能力の高さから、公共下水道が最も有効です。しかし公共下水道の完成には、多額の費用と長い年月を必要とします。

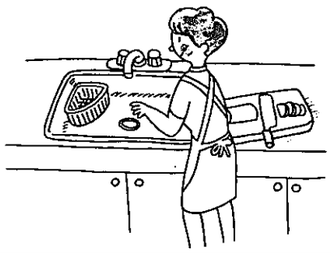
市では、水質汚濁による生活環境の劣悪化に対処し、公衆衛生の向上のため、平成三年度に市全域を対象にした下水道整備基本構想を作成しました。計画区域は、自然・社会条件や整備期間を考慮し、五処理区に分割。白根処理区は公共下水道で、その他の処理区は農業集落排水施設で処理します。単一事業での公共下水道の整備はかなりの年月を要することから、五処理区に分け、早期整備を図ることとしたものです。それでも、完成までには、約二十年の月日を要します。

白根市下水道基本構想図



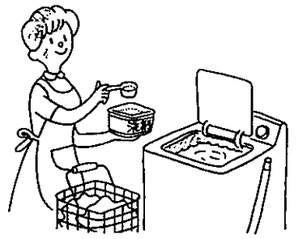
いろいろあります。家庭でできる水を汚さない工夫

1 流しに三角コーナーやネットを取り付けて、野菜くずや食べ残しを流さないように注意しましょう。



2 食器やなべについた油汚れは、紙などでふいてから洗うようにしましょう。

3 せっけんは決められた量を計って使い、洗濯機にはくず取り用のネットを取り付け、糸くずなどを取り除きましょう。



水の浄化は家庭から

公共下水道の完成は、長い年月を必要とします。私たちは家庭で水を汚さないよう気を付けなければなりません。汚れを出さないために、家庭でできるいろいろな工夫があります。例えば台所の流しに三角コーナーやネットを取り付けることで、野菜くずや食べ残しを流さないようにできます。食器やなべに付いた油は、いったん紙などでふいてから洗うようにすれば、汚れはかなり防げます。やたらに流しに捨てることをやめるのは当然ですが、おかずの作りすぎにも注意すべきです。汚れを出さないよう衛生面から気を付ければ、家計面も助かります。

また、浄化槽の維持管理も大切です。浄化槽は、槽内の微生物の働きを利用して汚水を処理する装置です。トイレットペーパー以外の異物を流したり、トイレ専用外の洗剤を使用すると、微生物が死んでしまいます。必ず専用の洗剤を使用しましょう。また、保守点検や清掃などは、定期的に実施する必要があります。浄化槽は汚水をきれいにする大切な装置です。常に維持管理に注意してください。

ごみの不法投棄も悪因

川を汚すのは、家庭からの生活排水だけではありません。ごみの不法投棄も大きな原因です。市内の排水機場ではごみの対策に苦慮しています。排水機場の職員は「空き缶、ビニール袋など、いろいろなごみが流れ着きます。自転車が流れてきたこともありますよ。ごみは所定の収集所へ出すか焼却処理をするようにしてください」と話します。また「廃油や薬品を側溝へ捨てるのも絶対やめてください。排水機場で処理できるものではありません」とも。油や薬品は、直接側溝に捨てなくても、貯蔵場所から漏れて流れ込むこともあります。油や薬品の管理は、常に点検を怠らないことが大切です。

市民の心掛けで水をきれいに

私たちは、川が汚れてきたことをよく知っています。川で生息する魚や昆虫などの生物が激減してきたことは、市民全員が感じていることでしょう。使った水はきれいにして、自然に戻してやらなければなりません。

使った水は、いつか必ず私たちの所へ戻って来ます。市民一人ひとりが、少し工夫するだけで、かなりの汚れが減少します。いつまでもきれいな水を使えるかどうかは、私たちにかかっているのです。常に水を大切にするよう心掛けなければなりません。それが水をきれいにするために、最も大切なことなのです。

▼流れ着いたゴミ（鎺潟ポンプ場）

水の汚れは 市民のモラルが問題

白根市民は、たいへん水に恵まれています。恵まれすぎて水の大切さを忘れています。料理の残りを流しへ捨てたり、ごみを川に捨てたりするのは、市民モラルの問題です。市民がもっと水に関心を持ち、大切にするよう心掛けなければなりません。情報化社会の現代で、水の情報だけが不足しています。市民も行政もお互いの情報を交換し合い、一体となって取り組まなければ、絶対に水はきれいになりません。きれいな水を使えるよう、一人ひとりが常に水の大切さを認識すべきです。

新潟県快適環境づくり推進員
島田因（大通南）